

2018 年度4月 明石公園 定例観察会報告

日 時	2018年4月21日(土) 9:30~13:00		記録者:熊谷信哉
探 鳥 地	明石公園 ときの太鼓前~藤見池~ひぐらし池~東ノ丸~二ノ丸~巽櫓~剛ノ池~千畳芝		
参加人数	在校生20名	顧問 2名 相談役 1名	総計23名 天候:快晴
観察概要	<p>近畿で今年初めての真夏日を記録した21日、広い明石公園で夏の訪れを予感しながらバードウォッチングを楽しんだ。1カ月前、ブルブル震えながら歩いた神戸森林植物園と何という違い。「熱中症に気をつけよう」が合言葉だった。初参加の1年生に交じって、新規加入の2年生の姿もあり、会員が持参したフィールドスコープはフル稼働。明石駅のすぐ近くに残された新緑と自然の中で野鳥たちが活発に動き出していた。一般公開されていた坤櫓で一休み、発展する明石の街並みを望んだ後、夏鳥の飛来を確認しようと城跡のお堀や石垣付近を丹念にチェック。子どもの村近くで人気者だったアオバズクは、3年ほど前から姿を見なくなった、という残念な情報も入ってきたが、全体としては、心躍る一日だった。</p> <p>【定例観測会で観察できた鳥】 アオサギ、カルガモ、カワウ、カワラヒワ、キジバト、ゴイサギ、シジュウカラ、スズメ、ツバメ、トビ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ホオジロ、ムクドリ、ヤマガラ、カワラバト、ヒドリガモ、ユリカモメの20種</p> <p>【声を聞いた鳥】 ウグイス、コゲラ、メジロの3種 (探鳥確認メモ 春~夏バージョン)</p>		
次回予定	5月13日(日)菊水山。神戸電鉄鈴蘭台駅の東改札口、午前9時半集合。詳しくは後刻、ご連絡します。		

《野鳥小ばなし》

恋の駆け引きいろいろ

最後の選択権を握っているのは？

春になって鳥たちも恋の季節。幸せな出会いのためにオスたちはさまざまな求愛行動を見せる。自分のDNAを残そう、と懸命だ。



野鳥を求めて古城跡を散策

食べ物のプレゼントはよくあるケース。アカシヨウピンはカエルを、コアジサシは魚、というようにメスの喜ぶ最高のごちそうを用意して気をひこうとする。1羽のメスを数羽のオスが囲んでデモンストレーションするのはコガモ。オスはメスに向かって、くちばしで水をかける、さらに体を反らしてメスに強烈アピール。こうしたお祭りのような喧噪の中からメスは気に入ったオスを選ぶ。

兵庫の県鳥コウノトリは、声帯が発達しておらず、くちばしをカスタネットのように「カタッ、カタッ」とたたいて求愛する。変わっているのはアオアズマヤドリ。青色の羽毛やプラスチックを集めて、美しい庭園をつくり、メスに交尾を促す。

恋の駆け引きは、さまざまだが、鳥も人も最後の選択権を握っているのは？

《参考》小学館の図鑑NEO「鳥」一など



「ドジョウはいないかな」。長い冠羽が可愛いアオサギ